

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館施設の管理	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	管理費（01-01-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理により、利用者サービスの充実を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	区立図書館5館の維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1。敷地面積2,723.96㎡。延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・荒川図書館：荒川4-27-2。敷地面積2,004.84㎡。延床面積1,165.29㎡ ・尾久図書館：西尾久3-12-12。敷地面積1,328.94㎡。延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18。都営住宅敷地内。延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4。敷地面積893.92㎡。延床面積1,369.66㎡				
経過	・昭和37年 3月 荒川図書館開館、昭和46年 9月 尾久図書館開館、昭和48年 4月 旧南千住図書館開館、昭和53年11月 町屋図書館開館、昭和55年 4月 日暮里図書館開館 ・昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる。全館でコピーサービス開始 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長				
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・南千住図書館建物維持管理業務委託（㈱ケルンビルシステム 23年度 ¥6,363,933） ・南千住図書館遠方監視業務等保守委託（㈱山武ビルシステムカンパニー東京本店 23年度 ¥3,366,972） ・南千住図書館建物管理設備保守業務委託（㈱後藤ビルサービス 23年度 ¥1,454,168） ・南千住図書館エレベーター保守業務委託（中央エレベーター工業㈱ 23年度 ¥1,224,720） ・南千住図書館機械警備業務委託（総合警備保障㈱城東支社 23年度 ¥483,840） ・各図書館及び原保育園清掃業務委託（㈲ワールドサービス荒川支店 23年度 ¥5,573,700） ・各図書館冷暖房機器保守委託（光ビル管理㈱ 23年度 ¥1,606,500） ・地域図書館機械警備業務委託（㈱コアズ東京事業本部 23年度 ¥661,500）				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	67,176	63,647	60,909	60,489	60,652	58,795	58,321
	決算額（24年度は見込み）	57,382	58,619	59,227	54,714	56,560	53,655	58,280
	人件費等	25,620	16,466	16,121	12,763	12,487	14,397	
	減価償却費					4,358	5,287	
	【事務分担当】（%）	300	300	290	219	150	170	
	合計（+ +）	83,002	75,085	75,348	67,477	73,405	73,339	58,280
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	
	その他（特定財源）	355	348	383	341	325	228	
	一般財源	82,647	74,737	74,965	67,136	73,080	73,111	58,280
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	入館者数（人）	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,341,224	1,343,444	1,350,000
	個人貸出者数（人）	521,504	537,305	586,263	633,555	671,737	666,490	670,000
	個人総貸出点数（点）	1,672,802	1,703,343	1,818,212	1,927,377	2,000,924	2,009,675	2,020,000
	住基人口（翌年1月1日）	178,399	181,205	184,207	186,906	188,968	190,164	191,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気・ガス・水道	26,734	電気・ガス・水道	24,485	電気・ガス・水道	27,995
	一般需用費	消耗品・物品修繕	540	消耗品・物品修繕	185	消耗品・物品修繕	410
	役員費	電話料・地域館受水槽清掃	3,789	電話料・地域館受水槽清掃	3,959	電話料・地域館受水槽清掃	3,971
	委託費	各館設備保守等業務委託	25,495	各館設備保守等業務委託	25,026	各館設備保守等業務委託	25,945

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	入館者一人当たりの経費(円)	44	42	40	43	40	経費÷入館者数
	貸出点数一点当たりの経費(円)	28	28	27	29	25	経費÷貸出点数
	区民一人当たり総個人貸出点数(点)	10.3	10.6	10.6	10.6	11.0	個人総貸出点数÷住基人口

(問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの充実を図り、入館者数や貸出点数を増やすことにより、一人当たりのコスト削減を目指す必要がある。 ・各館の老朽化やバリアフリー化への対応、本をゆったりと読むスペースの提供など、魅力ある読書環境を実現するため、年次計画による改善が必要である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
南千住図書館：電話設備改修 町屋図書館：車椅子昇降機設置	老朽化やバリアフリー対策など各館の環境整備

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

(要質問状況)	<p>平成15年二定</p> <p>平成16年三定</p> <p>平成18年一定</p> <p>平成18年二定</p> <p>平成19年二定</p> <p>平成20年一定</p> <p>平成22年二定</p> <p>平成24年一定</p> <p>平成24年二定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能を充実した新しい図書館の建設について ・中央図書館の早期設置について ・中央図書館構想の策定について ・新たな子ども図書館の期待と親子で楽しめる読書環境の整備について ・区民施設、教育施設としての中央図書館設置について ・荒川図書館の建替えについて ・地域館の整備について ・西尾久地域における図書サービスステーションの設置について ・都立汐入公園内における(仮称)汐入図書館の設置について ・「複合施設」から「融合施設」への考え方について ・現行の図書館体制の見直しについて
---------	--	---

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書資料の購入	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	小菅	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	図書購入費（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（24年度 23年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館館則、荒川区立図書館資料取扱規程、荒川区立図書館資料収集要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館を運営する上での基本的要素である図書資料を充実し、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指す。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<p>図書館サービスの中で最も基本となるものは、区民への資料提供であり、資料の収集内容によって、図書館のサービス内容が決まるともいえる。多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供している。</p> <p>なお、「これからの図書館調査懇談会」の提言を受け、平成20年度から全館の収集基準を設け、特色ある図書館づくりをすすめている。</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 5年度 図書館オンラインシステムの稼動に合わせて、新刊配本を一カ所とし、合同で選択会議を行う集中発注受入方式を導入 ・平成18年度 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定（19年3月） ・平成20年度 区立図書館それぞれの地域性に合わせた「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集を実施 				
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、図書館の本質的な機能である資料の提供を担うためには、必要な事業である。				
実施方法	<p>（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本については毎日、東京都書店商業組合荒川支部を通し、専門書から一般書まで全分野にわたる図書館向け新刊本の配本がある。 ・毎週火曜日、各館から代表者が集まり、図書の合同選択会議を開催。配本された本の内容を確認しながら、図書館資料収集基準に基づき選書を行い、その結果により書店組合に発注を行っている。 				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算額		73,570	78,643	81,108	81,108	74,666	76,072	72,662
決算額（24年度は見込み）		66,196	70,535	74,249	72,549	73,048	76,030	72,662
人件費等		35,771	36,364	36,140	33,153	18,731	19,210	
減価償却費						9,006	9,797	
【事務分担量】（%）		1,055	1,112	1,110	997	310	315	
合計（+ +）		101,967	106,899	110,389	105,702	100,785	105,037	72,662
国（特定財源）		0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）		0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）		0	0	0	0	0	0	
一般財源		101,967	106,899	110,389	105,702	100,785	105,037	72,662
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)	707,449	722,184	730,000	737,769	751,425	752,184	755,000
	図書雑誌個人貸出冊数(冊)	1,398,843	1,442,500	1,552,870	1,662,058	1,798,009	1,753,550	1,800,000
	図書購入冊数(冊)	34,094	34,740	37,057	44,363	47,847	41,042	45,000
	雑誌購入冊数(冊)	16,733	16,807	16,629	16,536	16,733	16,562	16,600
	住基人口(翌年1月1日)	178,399	181,205	184,207	186,906	188,968	190,164	191,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
一般需用費	一般書・児童書	54,773	57,558	一般書・児童書	55,878		
	雑誌(608種)	14,260	14,309	雑誌(609種)	10,859		
	新聞(23種)	2,709	2,712	新聞(24種)	3,251		
	追録	1,089	1,236	追録	844		
	官報	216	216	官報	216		
				医療・健康情報図書	672		
				大活字本	943		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	区民一人当たり蔵書冊数(冊)	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2	蔵書冊数÷住基人口
	区民千人当たり図書購入冊数(冊)	237	254	216	236	250	年間購入冊数÷住基人口千人
	区民一人当たり個人貸出冊数(冊)	8.9	9.5	9.2	9.5	11.0	年間貸出冊数÷住基人口

(問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在建設予定の複合施設では、利用者の向上心・向学心に応えられる専門書を揃える予定であり、複合施設の開設に合わせて分担収集の方針を見直す必要がある。 ・施設規模の蔵書容量から蔵書数には限度があり、この中でいかに新鮮で魅力ある書架構成を行うか、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が必要である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
蔵書構成の充実	医療情報分野の充実
ビジネス支援など新たな図書館サービスを支える資料やレファレンス資料の充実	分担収集の方針の見直し
特色ある図書館づくり	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	図書館サービスの基盤である資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

(状況)	議会議事録
------	-------

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	視聴覚サービス	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀												
		担当者名	西	内線	436												
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	視聴覚費（01-02-02）																
事務事業の種類	新規事業（24年度 23年度）		建設事業	それ以外の継続事業													
開始年度	昭和	平成	37年度	根拠	図書館法第3条、荒川区立図書館館則第2条												
終期設定	有	無	年度	法令等													
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画 非計画												
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]															
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]															
	施策	図書館サービスの充実[04-13]															
目的	図書館において、視聴覚資料を提供し、利用者サービスの充実を図る。																
対象者等	図書館利用者																
内容	16ミリ映写機検査（年1回） 視聴覚資料（CD・カセットテープ・DVD・ビデオテープ等）の購入と貸出 各種消耗品の購入（CDケース・CD貸出袋・CD仕切版、16ミリ映写機用消耗品、ビデオテープ用消耗品等） 【平成23年度視聴覚資料の貸出数】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">CD</td> <td style="width: 20%;">225,500</td> <td style="width: 30%;">ビデオテープ</td> <td style="width: 20%;">7,963</td> </tr> <tr> <td>カセットテープ</td> <td>5,143</td> <td>16ミリフィルム</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>17,519</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					CD	225,500	ビデオテープ	7,963	カセットテープ	5,143	16ミリフィルム	55	DVD	17,519		
CD	225,500	ビデオテープ	7,963														
カセットテープ	5,143	16ミリフィルム	55														
DVD	17,519																
経過	昭和45年度 16ミリフィルムの貸出実施 昭和61年度 CDの貸出実施 昭和63年度 16ミリ映写機の検定実施 平成10年度 16ミリ映写機の操作講習会が社会教育課から図書館に移管 平成18年度 16ミリ映写機の操作講習会を受講者実績の減少により休止 平成18年度 DVDの貸出実施																
必要性	図書館が、図書以外の資料として視聴覚資料を 教育的利用 鑑賞的利用 趣味的利用を目的として提供することは、より多くの利用者サービスの充実を図るため必要である。																
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 16ミリ映写機の検定：区内各施設が所有する映写機について、年1回専門技術者による点検・整備を図書館で実施 CD・DVDの購入：毎月1回、各図書館の担当者からなる選定会議を開催し、新譜リスト等により選定																

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	11,260	10,904	10,756	10,720	9,816	8,441	8,034
	決算額（24年度は見込み）	9,475	8,397	9,448	9,652	8,443	8,296	8,034
	人件費等	2,424	12,074	12,375	9,197	4,639	4,507	
	減価償却費					1,743	1,866	
	【事務分担量】（%）	260	270	270	213	60	60	
	合計（+ +）	11,899	20,471	21,823	18,849	14,825	14,669	8,034
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	11,899	20,471	21,823	18,849	14,825	14,669	8,034
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	16ミリ映写機検定実施台数(台)	46	43	41	41	31	29	31
	視聴覚資料所蔵点数(点)	44,605	45,792	46,483	46,610	46,614	47,166	48,000
	DVD所蔵点数(点)	280	420	578	726	898	1,090	1,200
	ビデオ所蔵点数(点)	3,302	3,242	3,164	3,111	3,050	3,020	3,000
	視聴覚資料個人貸出点数(点)	273,959	260,843	265,342	265,319	262,010	256,125	260,000
	住基人口(翌年1月1日)	178,399	181,205	184,207	186,906	188,968	190,164	191,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	26	16ミリ映写機検査技師謝礼	26	16ミリ映写機検査技師謝礼	26
	一般需用費	C D 購入	5,925	C D 購入	5,787	C D 購入	5,610
		カセットテープ購入	70	カセットテープ購入	60	カセットテープ購入	78
		D V D 購入	1,470	D V D（教育用含）購入	1,585	D V D（教育用含）購入	1,575
		C D 貸出袋等消耗品購入等	952	C D 貸出袋等消耗品購入等	838	C D 貸出袋等消耗品購入等	685
		物品修繕費	0	物品修繕費	0	物品修繕費	60

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
	D V D 移行率（%）	23.3	29.4	36.1	40.0	40.0	D V D 所蔵数 ÷ ビデオ所蔵数
	区民一人当り視聴覚資料個人貸出点数(点)	1.4	1.4	1.3	1.4	2.0	視聴覚資料個人貸出点数 ÷ 住基人口
	区民千人当り視聴覚資料所蔵点数(点)	249	249	248	251	300	視聴覚資料所蔵点数 ÷ 住基人口千人

(問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・音響資料の新譜はほとんどC D となり、カセットテープの発売は大きく減少してきているが、高齢者を中心にカセットテープの貸出が依然として多い。また、映像資料については、新規発行がビデオテープからD V D に移行してきている。さらに、今後はブルーレイディスク（B D ）とその再生機、また音楽のダウンロードも普及していくと思われる。図書館として、視聴覚資料の発行形態の大きな変化や区民ニーズに対応していく必要がある。 ・団体貸出用である16ミリフィルムの利用を促進するため、教育用D V D やビデオと同様に目録データを登録し、平成22年度からシステム上で利用できるようにした。今後は、これらの資料を有効に活用してもらうため、学校等への周知を強化するなど、一層の利用促進を図る必要がある。
----------	---

他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）
-------	-----------------

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
各館の担当者を交えた合同選択会議にて、購入するA V の検討を行う	A V 資料選択の質の向上
団体貸出資料についての周知	多様化する音響資料への情報収集

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	図書館サービスの基盤である資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

(議会議案要旨)	
----------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	障がい者サービス	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	西	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	障がい者サービス費（01-02-03）				
事務事業の種類	新規事業（24年度 23年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	56年度	根拠	荒川区立図書館館則第2条
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	視覚障がい者に対する録音図書・点字図書の充実など、障がいのある利用者へのサービス向上に努める。				
対象者等	何らかの障がいのため、図書館利用が困難な区民				
内容	<p>【図書資料の宅配サービス】 何らかの障がいにより、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料（本・カセット・CD・ビデオ・DVD）を自宅まで配達。貸出期間は1カ月</p> <p>【対面音訳サービス】 目の不自由な方に、対面音訳者が必要な図書資料をその場で読むサービス</p> <p>【その他のサービス】 区内の福祉施設（のぞみの会・ひまわり作業所等）への団体貸出の実施。福祉まつりに参加している。</p> <p>【録音図書の製作と貸出】 利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を音声化して作成する。音訳はボランティアに依頼しており、内容の録音、校正を経て完成させる。主に作成する録音図書は小説・エッセイ・実用書である。また、自前で製作できる冊数が限られるため、全国の点字図書館・公共図書館と相互貸借をしている。平成20年度からはデジター図書の作成も始めた。</p> <p>【音訳者養成講座の開催】 録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座を実施している。</p>				
経過	昭和56年12月	「図書館利用に障がいのある人々へのサービスの基本計画」を策定			
	昭和57年 4月	昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者サービス事業を検討し、家庭配本・対面朗読（現在は「対面音訳」）開始			
	昭和58年10月	カセットテープによる録音図書の貸出を開始			
	昭和59年 1月	点字図書作成開始			
	平成18年10月	日本点字図書館は、平成23年3月末をもってテープ図書貸出終了の方針を決定（デジター図書のみ貸出）			
必要性	何らかの障がいのある方に、より多くの図書館資料を提供するため、必要な事業である。録音図書のデジター化は利便性・耐久性に優れており、利用者のサービス向上にも繋がる事業である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 点字図書・録音図書の作成：ボランティア（養成講座修了者及び受講者）に協力いただいて作成 音訳者養成講座：音訳者としてのレベルアップを図るため、外部から講師を呼び実施				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	2,506	2,301	5,039	3,408	3,105	3,237	2,007	
決算額（24年度は見込み）	2,278	2,014	4,303	2,389	2,331	2,522	2,007	
人件費等	2,424	4,148	5,211	2,094	1,744	3,388		
減価償却費					581	1,244		
【事務分担当】（%）	50	70	90	46	20	40		
合計（+ +）	4,702	6,162	9,514	4,483	4,656	7,154	2,007	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	4,702	6,162	9,514	4,483	4,656	7,154	2,007	
実績の推移	事項名							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
宅配サービス実績回数（回）	520	384	507	707	412	395		
H S登録者数（人）	122	120	124	131	120	117		
H S資料個人貸出点数（点）	2,213	2,433	2,400	2,604	2,273	2,239		

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	280	音訳者養成講座講師謝礼	200	音訳者養成講座講師謝礼	200
	デジター図書編集・校正謝礼	340	デジター図書編集・校正謝礼	167	デジター図書編集・校正謝礼	666	
					点字版目録点訳謝礼	40	
一般需用費	大活字本	991	大活字本	984	<small>24-図書購入費に移管</small>		
	デジター図書	419	デジター図書	377	デジター図書	529	
	その他消耗品	280	その他消耗品	490	その他消耗品	286	
役務費	郵送料	20	郵送料	20	郵送料等	46	
委託料			デジター編集講習会	245	デジター編集講習会	240	
備品購入費			点字用ラベルライター	40			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	障がい者利用登録者率（％）	6.1	6.0	5.8	6.0	7.0	H S登録者数÷対象者数（肢体不自由及び視覚障がい1・2級手帳保持者）
	デジター図書貸出普及率（％）	17.1	36.5	46.1	45.0	45.0	D A I S Y図書貸出点数÷録音図書貸出点数

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がどのようなサービスを図書館に求めているのか等を、各関係機関・関係団体と連携しながら把握し、事業を進めていく必要がある。 ・点字図書作成奉仕者及び音訳者が固定化してきている。新しい点訳者及び音訳者の育成をどのように行っていくかが課題である。 ・録音図書は、今後パソコンやデジタル録音機を使用し作成することとなるため、研修や個別指導を充実させていく必要がある。また、現在約1,000タイトルを所蔵しているカセットテープによる録音図書のうち、最終的に何タイトルをデジター化していくかを検討する必要がある。 ・特に高齢の方には、デジター図書再生機という新しい機械の利用に抵抗があると推測されるため、個別に使い方を説明していくなど、きめ細やかなサービスを行う必要がある。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
	音訳奉仕者との連携により、より良い録音図書の作成	障がい者サービスの啓発を工夫し、利用者の拡大に努める
	担当者会議の場で優先順位を設け、録音図書のデジタル化を計画的に行う	デジタル化した録音図書の紹介及び録音図書再生機器の紹介

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	障がい者サービスを充実させるため、優先度の高い事業である。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館オンラインシステム	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	小菅	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	図書館オンラインシステム（01-02-04）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	5 年度	根拠法令等	荒川区個人情報保護条例、荒川区電子情報システム管理運営規程、荒川区住民基本台帳ネットワークシステム管理運営規程	
終期設定	有 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	コンピュータシステムを活用することで、図書館の業務（蔵書管理・貸出返却・予約等）の運営を円滑にし、利用者の利便性の向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区立図書館5館及び図書サービスステーション2箇所を結んだオンラインシステムにより、資料選択、発注、受入、回送等の一連の業務を集中発注方式で処理 ・利用者は、どこの館でも貸出、返却、予約等ができ、携帯電話や自宅のパソコンからも、資料検索、予約、予約・貸出状況確認、貸出延長などの手続きが可能となっている。 ・現行機器のリースは平成27年3月31日まで（サーバ機器6台、端末装置67台、プリンター14台、レシートプリンター50台、ハンディ端末12台等）。 				
経過	<p>平成 5年10月 1日 図書館コンピュータシステム3館第一次稼働、集中処理による運用開始</p> <p>平成 6年 6月 1日 図書館コンピュータシステム全館第二次稼働</p> <p>平成10年 5月 1日 新南千住図書館開館（祝日開館実施）</p> <p>平成11年 4月10日 図書館新コンピュータシステム稼働</p> <p>平成13年 7月 7日 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設</p> <p>平成14年 2月18日 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始</p> <p>平成14年 9月 8日 南千住図書館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成15年 7月 1日 全館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成16年 4月 1日 図書館新コンピュータシステム稼働</p> <p>平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時連絡メール自動送信、メール督促開始</p> <p>平成18年 7月14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始</p> <p>平成19年 9月 8日 汐入図書サービスステーション開設</p> <p>平成21年 3月 1日 全館で無線LAN規制ソフト導入</p> <p>平成21年11月14日 冠新道図書サービスステーション開設</p> <p>平成22年 4月 3日 オンラインシステムリプレイス・HPリニューアル</p> <p>平成22年12月18日 汐入図書サービスステーションリニューアル</p>				
必要性	区立図書館資料の管理・貸出等の業務運営はすべて図書館オンラインシステムによるため必要である。				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>【図書資料提供までの流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料選択 発注 装備 受入 回送 装備は委託により実施 書誌データ：ニッパンマーク（図書）、トッカータマーク（AV）を購入 受入・予約・返却資料の他館への送付には配本車を活用 				

予算・決算額等の推移	事項名	（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算額		55,824	55,066	54,101	53,094	49,681	51,506	50,887
決算額（24年度は見込み）		53,537	52,903	52,154	51,768	45,468	48,949	50,887
人件費等		34,990	35,045	34,058	34,425	16,028	17,969	
減価償却費						7,117	8,708	
【事務分担量】（%）		945	1,012	1,000	1,084	245	280	
合計（+ +）		88,527	87,948	86,212	86,193	68,613	75,626	50,887
国（特定財源）		0	0	0	0	0	0	0
都（特定財源）		0	0	0	0	0	0	0
その他（特定財源）		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		88,527	87,948	86,212	86,193	68,613	75,626	50,887
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	個人登録者数（人）	50,422	50,805	51,768	53,769	55,566	55,280	56,000
	パスワード登録者数（人）	12,654	13,893	15,204	16,728	18,134	18,356	19,000
	予約登録点数（点）	352,406	395,266	456,606	500,626	562,336	585,183	630,000
	WEB予約登録点数（点）	216,444	256,988	310,971	351,383	406,774	431,433	470,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）		
	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	
予算・決算の内訳	賃金				臨時職員賃金	432	
	一般需用費	ニッパンマーク等消耗品	3,412	ニッパンマーク等消耗品	3,069	マーク購入	2,457
		データトリッジ等消耗品	741	データトリッジ等消耗品	1,491	その他消耗品	2,048
		バーコード等印刷製本	1,512	利用者カード等印刷製本	1,293	利用者カード等印刷製本	1,489
					貸出用パソコン等修繕	120	
	役務費	配本車運行等	5,893	配本車運行等	5,699	配本車運行等	7,173
		光専用回線使用料	3,211	光専用回線使用料	3,200	光専用回線使用料等	4,934
	委託料	CD・図書等装備委託等	10,417	CD・図書等装備委託等	10,346	CD・図書等装備委託等	10,487
		ワライ・インターネット用機器等保守	8,606	ワライ・インターネット用機器等保守	8,606	ワライ・インターネット用機器等保守	8,661
				ソフト管理システム開発及び保守	1,848		
				H P 修正委託等	315		
	使用料及賃借料	ワライ・インターネット用機器賃借料	11,377	ワライ・インターネット用機器賃借料	11,377	ワライ・インターネット用機器賃借料	11,377
				B P S 賃借料	1,706	B P S 賃借料	1,706
工事請負費	光専用回線配管工事	299					

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	パスワード登録者の割合(%)	31.1	32.6	33.2	34.0	35.0	パスワード登録者÷個人登録者数
	インターネット予約の割合(%)	70.2	72.3	73.7	74.5	75.0	インターネット予約登録点数÷予約登録点数

(問題点・課題 指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> インターネット予約などのITサービスを実施しているが、さらにホームページを充実させるとともに、最新のIT技術について調査検討していく必要がある。 長期延滞対策等を強化し貸出等の運用見直しを区民に周知して実施する。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
ホームページなど情報発信の充実	Webリクエストの充実

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	利用者の利便性向上を図り、先進的なITサービスを提供するため、継続して実施する。

(議会 要旨) 状況	平成12年二定 ・インターネットを活用した検索・予約システムの早期実現について 平成14年三定 ・インターネット予約時の順番がわかるようにすることについて
------------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	子ども読書活動推進計画事業	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	西	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	子ども読書活動推進計画事業費（01-02-05）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18年度	根拠	子どもの読書活動の推進に関する法律	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子どもたちが「本に親しむ」きっかけを増やす。				
対象者等	区民全体				
内容	<p>平成18年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して以下のような事業を行う。</p> <p>【1.家庭での読書活動に対する支援と地域における読書環境の整備】 ブックスタート、おはなし会、出産を迎える方々への読み聞かせ講習会、ボランティア養成講座、団体貸し出しの充実、子ども読書活動推進PRの実施等</p> <p>【2.小・中学校における取り組み】 学校図書館との連携強化、図書館職員による新小学一年生を対象にした学校訪問等</p> <p>【3.区立図書館における取り組み】 0歳から18歳までの子どもの発達段階に応じた読書活動を支援する。 体験型おはなし会の実施、10代の子どもに向けた参加型イベント、柳田邦男絵本大賞</p>				
経過	<p>平成13年12月 「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、地方自治体においても「子ども読書活動推進計画」の策定に努めることと規定された。</p> <p>平成17年 7月 「（仮）荒川区子ども読書活動推進計画」検討委員会及び作業部会設置</p> <p>平成18年 2月 「荒川区子ども読書活動推進計画（素案）」策定 文教委員会報告及びパブリック・コメント実施</p> <p>平成18年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年12月 「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、第一回あらかわ子ども読書フェスティバル実施</p> <p>平成20年 7月 第一回柳田邦男絵本大賞を創設</p> <p>平成21年 1月 第二回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第一回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成22年 1月 第三回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第二回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成23年 1月 第四回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第三回柳田邦男絵本大賞を表彰</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成24年 1月 第五回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第四回柳田邦男絵本大賞を表彰</p>				
必要性	子どもたちの読書離れの改善、読書力や国語力向上のため、必要である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	1,914	2,389	2,311	5,811	4,872	5,936	7,009	
決算額（24年度は見込み）	1,269	1,231	1,393	4,307	3,898	4,581	7,009	
人件費等	3,705	3,598	6,008	8,318	9,523	14,460		
減価償却費					4,358	6,998		
【事務分担当】（%）	60	85	95	212	150	225		
合計（+ +）	4,974	4,829	7,401	12,625	17,779	26,039	7,009	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	4,974	4,829	7,401	12,625	17,779	26,039	7,009	
実績の推移	事項名							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
講演会（児童・10代）参加人数(人)	211	136	86	41	57	16		
ボランティア養成講座参加人数	203	186	261	140	148	164		
講習会（読み聞かせ等）参加人数	14	25	22	24	16	16		

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	講演会等講師謝礼	552	講演会等講師謝礼	480	講演会等講師謝礼	860
	一般需用費	消耗品費	2,547	消耗品費	3,191	消耗品費	4,738
		印刷製本費	619	印刷製本費	760	印刷製本費	1,119
	役務費	筆耕	32	筆耕	31	筆耕	38
	使用料及び賃借料	会場使用料	51	会場使用料	52	会場使用料	90
	備品購入費	備品購入費	97	備品購入費	67	備品購入費	164

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	67.8	67.4	64.9	70.0	76.0	子ども読書活動の事業を展開し、8割近い登録をめざす。
	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	52.3	51.9	50.9	55.0	62.0	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動の環境整備がますます必要となっている状況を鑑みて、関係各課との連携をはかって、「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づいた計画事業を円滑に進める必要がある。 おはなし会や講演会などについては、ポスター・チラシ・ホームページなど、子どもたちに対し積極的な情報提供を行って、参加を促していく必要がある。 4月23日の「子ども読書の日」や10月27日の「文字・活字文化の日」にちなんだ効果的な啓発活動を行い、子ども読書活動の意義を積極的にPRする必要がある。
	<p>（実施 20 区 未実施 2 区 渋谷・江戸川区）</p> <p>千代田、中央、港、新宿、文京、台東、墨田、江東、品川、目黒、大田、世田谷、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬、足立、葛飾</p>

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
小学校高学年を対象とした企画の検討	区内小中学校・学校図書館との連携強化
おはなし会の対象者や開催日数を増やす等、参加の促進を行う	ひろば館・ふれあい館等関係各課との連携による身近な場所でのサービスの提供

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	子どもの読書離れの改善、国語力や読書力の向上のために、きわめて優先度の高い事業である。

（状況）	議会要旨
------	------

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館の運営	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	図書館事務費（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	図書館法、文字・活字文化振興法、荒川区立図書館館則	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館運営を適切に実施することにより、図書館の快適性を維持し、利用を促進する。				
対象者等	図書館利用者				
内容	区立図書館各館の運営や事業に必要な臨時職員雇上、消耗品購入、利用案内の作成、コピーサービス等を実施				
経過	昭和37年 3月 現荒川図書館開館 昭和46年 9月 尾久図書館開館 昭和48年 4月 旧南千住図書館開館 昭和53年11月 町屋図書館開館 昭和55年 4月 日暮里図書館開館 昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる。本の貸出を一人5冊、15日間とする。 昭和63年 4月 貸出冊数の制限撤廃 平成 4年 5月 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置 平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 平成 8年 5月 CD・カセットテープの貸出を5点15日間に変更 平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施。ビデオテープの貸出開始（一人1点） 平成11年10月 ビデオテープの貸出点数を一人2点に拡大 平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施 平成16年 9月 吉村昭ミニコーナーを全館で開設 平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 平成21年10月 貸出冊数を一人30冊に変更。延滞者への貸出予約等停止措置の導入				
必要性	区民の読書推進と図書館利用の普及のため、今後も充実の必要がある。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	18,616	17,917	17,558	17,516	16,125	15,991	17,242
	決算額（24年度は見込み）	16,345	16,760	16,457	16,458	14,733	14,643	17,242
	人件費等	16,088	12,078	13,322	15,168	15,749	15,307	
	減価償却費					6,827	7,309	
	【事務分担当】（%）	210	170	180	329	235	235	
	合計（+ +）	32,433	28,838	29,779	31,626	37,309	37,259	17,242
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	1,043	911	1,066	1,018	1,079	839	1,190
	一般財源	31,390	27,927	28,713	30,608	36,230	36,420	16,052
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	入館者数（人）	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,341,224	1,343,444	1,350,000
	個人総貸出点数（点）	1,672,802	1,703,343	1,818,212	1,927,377	2,000,924	2,009,675	2,020,000
	住基人口（翌年1月1日）	178,399	181,205	184,207	186,906	188,968	190,164	191,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般賃金	臨時職員雇上		11,118	臨時職員雇上	11,111	臨時職員雇上
報償費							
職員旅費	近接地内旅費		27	近接地内旅費	31	近接地内旅費	33
一般需用費	館運営消耗品印本		1,731	館運営消耗品印本	1,902	館運営消耗品印本	2,184
役務費	CATV料金		107				
委託料	空気清浄機等保守		225	空気清浄機保守	0	地域資料等補修委託	134
使用料等	複写機賃借料等		1,444	複写機賃借料等	1,547	複写機賃借料等	1,851
備品購入費						タイプライター、ブックトラック他	208
負担金等	日本図書館協会会費等		81	日本図書館協会会費等	51	日本図書館協会会費等	87

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	入館者一人当たりの経費(円)	13.1	11.0	10.9	12.8	12.0	経費 ÷ 入館者数
	区民一人当り総個人貸出点数(点)	10.3	10.6	10.6	10.6	11.0	総個人貸出点数 ÷ 住基人口

(問題点・課題)	多様化するニーズに応え、充実した図書館サービスを提供するため、より利用しやすい運営形態等について検討を進める必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
各サービスの周知方法を充実することにより、利用者増を図る。	新たなサービスの提供やニーズの掘り起こしについて検討する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

(状況)	
------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館非常勤職員	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	図書館非常勤関係費（01-03-02）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	12 年度	根拠法令等	荒川区非常勤職員規則、荒川区非常勤職員の勤務条件等に関する要綱、荒川区教育委員会事務局非常勤職員設置要綱	
終期設定	有 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館勤務経験者や司書（司書補を含む）など、図書に関する幅広い知識を持つ優秀な人材を図書館事務嘱託員として採用し、カウンター業務をはじめとする図書館運営全般を担わせることにより、経費節減を図りながら、図書館のサービス向上を図る。				
対象者等					
内容	非常勤職員配置状況（平成24年4月1日現在） ・南千住図書館 非常勤職員28名配置（上級主任1名、主任6名、上級5名） ・荒川図書館 非常勤職員13名配置（主任3名、上級3名） ・尾久図書館 非常勤職員13名配置（主任3名、上級2名） ・町屋図書館 非常勤職員13名配置（主任4名、上級1名） ・日暮里図書館 非常勤職員18名配置（主任4名、上級3名） 合計85名（上級主任1名、主任20名、上級14名）				
経過	・平成12年度 町屋図書館で導入、非常勤3名採用、常勤職員定数67（2） 計70名 ・平成13年度 全館導入、非常勤職員定数18（+15）常勤職員定数57（10） 計75名 ・平成14年度 非常勤職員定数33（+15）常勤職員定数47（10） 計80名 ・平成15年度 非常勤職員定数42（+9）常勤職員定数41（6） 計83名 ・平成16年度 非常勤職員定数57（+15）常勤職員定数31（10） 計88名 ・平成17年度 非常勤職員定数66（+9）常勤職員定数25（6） 計91名 ・平成18年度 非常勤職員定数66（±0）常勤職員定数25（±0） 計91名 ・平成19年度 非常勤職員定数77（+13）常勤職員定数21（4） 計98名 ・平成20年度 非常勤職員定数77（±0）常勤職員定数21（±0） 計98名 ・平成21年度 非常勤職員定数81（+4）常勤職員定数21（±0） 計102名 ・平成22年度 非常勤職員定数82（+1）常勤職員定数22（+1） 計104名 ・平成23年度 非常勤職員定数84（+2）常勤職員定数22（±0） 計106名 ・平成24年度 非常勤職員定数85（+1）常勤職員定数22（±0） 計107名				
必要性	図書館運営のコスト節減を図りながら図書館サービスを維持させるために、非常勤職員は不可欠である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	167,774	198,546	195,394	218,053	223,781	231,636	234,014
	決算額（24年度は見込み）	163,173	191,907	192,489	213,967	216,181	220,518	234,014
	人件費等	22,079	23,396	24,481	29,088	10,900	13,127	
	減価償却費					3,631	4,821	
	【事務分担量】（%）	765	822	830	910	125	155	
	合計（+ +）	185,252	215,303	216,970	243,055	230,712	238,466	234,014
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	185,252	215,303	216,970	243,055	230,712	238,466	234,014
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	非常勤職員総数（人）	66	77	77	81	82	84	85
	非常勤職員数増（人）	0	11	0	4	1	2	1
	常勤職員数減（人）	0	4	0	0	1	0	0

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
			金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）
	報酬	非常勤職員報酬	191,436	非常勤職員報酬	194,613	非常勤職員報酬	206,382
	共済費	非常勤職員社会保険料	24,638	非常勤職員社会保険料	25,777	非常勤職員社会保険料	27,432
	特別旅費	非常勤職員旅費	107	非常勤職員旅費	88	非常勤職員旅費	140
	委託料			採用前健診実施委託	40	採用前健診実施委託	60

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	非常勤職員司書有資格者率（％）	87	87	86	86	90	司書・司書補有資格者数÷非常勤職員数

（問題点・課題）	<p>上級主任非常勤職員、主任非常勤職員、上級非常勤職員を任用したが、職務の位置づけ及び非常勤職員の待遇改善等について引き続き検討していく必要がある。</p>
他区の実況	<p>（実施 16 区 未実施 6 区）（千代田・品川・大田・中野・北・板橋区） 指定管理者導入：10区（千代田・港・新宿・文京・大田・杉並・板橋・練馬・足立・江戸川区） 直営（カウンター委託未実施区）：3区（千代田・新宿・荒川区） 千代田区は全館指定管理</p>

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
非常勤職員の人事評価制度や選書能力・資質の向上についての検討	非常勤職員の人事評価制度や選書能力・資質の向上についての検討

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	図書館サービスを支える非常勤職員の役割は重要であるため、必要性が高い。

況議（要旨）	<p>（要旨）</p>
--------	-------------

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館施設の修繕	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	営繕費（一般）（01-04-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、利用者サービスの向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	図書館施設の建物修繕経費を計上 平成23年度の修繕内容 ・南千住図書館 非常灯バッテリー交換修繕ほか 全14件 ¥1,237,151 ・荒川図書館 1階床修繕ほか 全14件 ¥962,031 ・尾久図書館 CD収納棚修繕ほか 全12件 ¥939,802 ・町屋図書館 横型ブラインド修繕ほか 全11件 ¥1,356,180 ・日暮里図書館 出入口片開きドア修繕ほか 全12件 ¥1,686,919				
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設				
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 各館の破損状況等に応じ、業者委託により実施				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	6,488	6,418	7,347	7,355	15,016	6,921	7,285
	決算額（24年度は見込み）	4,580	3,756	4,684	5,999	14,773	6,182	7,285
	人件費等	6,405	3,965	4,251	5,579	5,668	7,622	
	減価償却費					1,888	2,799	
	【事務分担当】（%）	75	100	100	100	65	90	
	合計（+ +）	10,985	7,721	8,935	11,578	22,329	16,603	7,285
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,985	7,721	8,935	11,578	22,329	16,603	7,285
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	全館修繕総件数(件)	50	39	42	56	74	63	75
	入館者数(人)	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,350,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
一般需用費	南千住図書館	8,613	南千住図書館	1,237	南千住図書館	2,862	
	荒川図書館	3,123	荒川図書館	962	荒川図書館	1,078	
	尾久図書館	927	尾久図書館	940	尾久図書館	1,112	
	町屋図書館	1,087	町屋図書館	1,356	町屋図書館	967	
	日暮里図書館	1,022	日暮里図書館	1,687	日暮里図書館	1,268	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
指標	入館者一人当たり要する経費（円）	10	42	58	21	50	（営繕費の一般分＋施設改修分）÷入館者数

（問題点・課題分析）	・施設の老朽化への対応及び計画的な修繕が必要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
小破修繕への迅速な対応	施設の修繕計画の検討

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書館施設の改修	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	営繕費（施設改修分）（01-04-02）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、利用者サービスの向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	図書館施設の施設改修等工事費を計上 平成23年度の修繕・工事 ・南千住図書館 空調設備修繕 ￥34,650,000 ・南千住図書館 防犯カメラ設備修繕 ￥876,750 ・尾久図書館 自動ドアエンジン修繕 ￥1,286,250 ・町屋図書館 空調設備改修工事 ￥31,507,560 ・日暮里図書館 自動ドアエンジン修繕 ￥1,508,850 ・日暮里図書館 高圧ケーブル改修工事 ￥1,633,800				
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設				
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 営繕課に執行委任して工事実施（大規模修繕については所管課で対応）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	18,132	3,066	2,777	9,234	48,550	72,715	22,263	
決算額（24年度は見込み）	16,989	3,024	2,439	7,161	48,489	71,463	22,263	
人件費等	0	2,806	1,939	1,751	1,308	3,388		
減価償却費					436	1,244		
【事務分担当】（%）	0	40	30	25	15	40		
合計（+ +）	16,989	5,830	4,378	8,912	50,233	76,095	22,263	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	16,989	5,830	4,378	8,912	50,233	76,095	22,263	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	全館改修工事件数(件)	3	2	1	2	2	9	5
	入館者数(人)	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,350,000

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
一般需用費 (家屋等修繕)				南千住・ITV設備更新	877	南千住・溶液一次ポンプ修繕	3,675
				南千住・空調設備改修	34,650		
				尾久・自動ドアエンジン交換	1,286		
				日暮里・自動ドアエンジン交換	1,509		
	工事請負費	尾久・空調設備改修工事	47,250	町屋・空調設備改修	31,508	南千住・電話設備改修	6,473
		尾久・事務室防音工事	1,239	日暮里・高圧ケーブル改修	1,634	町屋・車椅子昇降設備設置	12,116

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
	入館者一人当たりに要する経費（円）	10	42	58	21	50	(営繕費の一般分+施設改修分)÷入館者数

(問題点・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化への対応及び計画的な修繕が必要である。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
南千住図書館：電話交換設備改修 町屋図書館：車椅子昇降設備設置	各館の計画修繕予定に基づく修繕の実施

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
継続	継続	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

(議会議要旨)	
---------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	図書サービスステーション	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	村木	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	図書サービスステーション管理運営費（01-05-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	19 年度	根拠	荒川区立図書館図書サービスステーション運営要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> 近くに図書館が無いため、図書館サービスが行き届きにくいと思われる地域に図書サービスステーションを設置し、図書館サービスに対する区民の利便性の向上を図る。 急増している子育て世代に対する子育て教育環境の整備（汐入地域） 				
対象者等	図書館利用者				
内容	1 名称 汐入図書サービスステーション 2 住所 荒川区南千住8-12-5 べるぼーと汐入東館1F 109・114号室 社協が運営する「おもちゃ図書館」と隣接 3 面積 94.17㎡ 4 開館日 平成19年9月8日 5 業務内容 利用者登録、検索、予約、貸出、返却 6 蔵書冊数 図書9,703冊、雑誌396冊（H24年6月1日） 7 利用実績（H23年4月1日～24年3月31日） （1）入館者数 189,854人（1日当たり637人） （2）貸出者数 77,115人（1日当たり259人） 8 運営体制 南千住図書館の所管として運営			1 名称 冠新道図書サービスステーション 2 住所 荒川区西日暮里6-25-14 3 面積 181.44㎡ 4 開館日 平成21年11月14日 5 業務内容 利用者登録、検索、予約、貸出、返却 6 蔵書冊数 図書9,714冊、雑誌540冊（H24年6月1日） 7 利用実績（H23年4月1日～24年3月31日） （1）入館者数 51,610人（1日当たり173人） （2）貸出者数 32,031人（1日当たり107人） 8 運営体制 日暮里図書館の所管として運営	
	経過	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの図書館調査懇談会報告書」（平成18年4月）において提言を受けた。 「荒川区基本計画」（平成19年度～平成28年度）「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 「あらかわ刷新プラン」（平成17年度～21年度）及び「荒川区実施計画」（平成19年度～平成22年度）において、平成19年度に「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 平成19年9月8日 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月14日 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月18日 汐入図書サービスステーションのフロアの拡張を実施するとともに、蔵書の追加を行った。また、拡張したフロア部分に「柳田邦男さんおすすめ絵本コーナー」を設置した。 			
必要性	近くに図書館が無いため、図書館サービスが行き届きにくい地域に図書館サービスを提供するため、必要性が高い事業である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	-	25,594	22,447	48,879	43,980	23,001	19,711	
決算額（24年度は見込み）	-	20,940	20,956	31,931	38,410	21,166	19,711	
人件費等		5,001	5,577	13,537	11,860	15,307		
減価償却費					4,939	7,309		
【事務分担量】（%）		80	70	239	170	235		
合計（+ +）	0	25,941	26,533	45,468	55,209	43,782	19,711	
国（特定財源）	-	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	-	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	-	0	0	0	3,789	1,349	1,386	
一般財源	0	25,941	26,533	45,468	51,420	42,433	18,325	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	入館者数（人） 汐入	-	73,532	147,453	148,438	162,755	189,854	199,347
	冠新道	-	-	-	17,426	51,407	51,610	54,191
	個人貸出者数（人） 汐入	-	23,721	56,758	67,652	70,966	77,115	80,971
冠新道	-	-	-	8,725	30,368	32,031	33,633	

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		一般賃金	臨時職員雇い上げ	2,253	臨時職員雇い上げ	2,296	臨時職員雇い上げ
光熱水費	電気料等	715	電気料等	690	電気料等	820	
一般需用費	図書その他消耗品等	11,959	図書その他消耗品等	4,323	図書その他消耗品等	3,407	
役務費	その他の通信運搬費等	2,590	その他の通信運搬費等	1,806	その他の通信運搬費等	331	
委託料	図書館システム保守等	2,693	図書館システム保守等	1,415	図書館システム保守等	1,435	
使用料賃借料	建物賃借料	10,750	建物賃借料	10,636	建物賃借料	10,659	
工事請負費	汐入拡張工事	5,192					
備品購入費	システム機器、書架等	2,258					

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	汐入個人貸出者数（人）	67,652	70,966	77,115	80,971	81,558	
	冠新道個人貸出者数（人）	8,725	30,368	32,031	33,633	36,746	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汐入図書SSについては、平成22年12月にフロアの一部拡張を行ったところであるが、利用者が以後も年々増加しており、施設が手狭になっている。 ・ 冠新道図書SSについては、利用者数の伸び率が、当初の想定よりも鈍化しつつある。 ・ 区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、今後2か所程度のSSの設置を検討していく。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 15 区 未実施 7 区）</p> <p>【分室等】 千代田区、港区、新宿区、杉並区、練馬区、豊島区、品川区、文京区、台東区、北区、足立区、江東区、墨田区、江戸川区、葛飾区</p>

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
図書館の利用が不便な地域の解消や、利用者の増加等を踏まえて、図書SSの増床、増設等に関する検討を進める。	作業効率を上げるため、事務機器の増設等の改善を図る。
図書SSの立地を生かして、商店街等との連携を進めることにより、利用者数の拡大を図る。	配架後数年が経過し、貸出回数が減った資料を入れ替えることで、魅力ある書架にする。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	区民の身近な場所で図書館サービスを提供するため、優先度の高い事業である。

況議 （要旨）	<p>平成24年一定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾久地域における図書サービスステーションの設置について ・ 都立汐入公園内における（仮称）汐入図書館の設置について
------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	新図書館整備事業費	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	村木	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	新図書館整備事業費（01-07-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	23年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館条例	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	老朽化の進んだ現荒川図書館に代わる館として、（仮称）荒川二丁目複合施設内に新図書館を設置し、センター機能を持たせることにより、蔵書の充実や図書館サービスの向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館の整備に向け、先進図書館の視察や業務計画策定に向けた調査研究等を行う。 ・利用者の利便性向上のため、文庫本等の分類変更作業を行う。 				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年度 第一回定例会及び第二回定例会にて、図書館のあり方に関する意見要望あり。 ・平成13年度 図書館のあり方に関する庁内検討組織を設置。図書館のあり方、区立図書館の現状と課題等について調査、検討 ・平成14年度 これからの図書館に求められる機能・図書館サービスのありかた等について、引き続き調査、検討 ・平成15年度 第二回定例会にて、図書館の充実についての意見要望を受け、16年度にかけて、中央館の建設等の課題を視野に、「これからの図書館サービスのあり方」について調査、検討 ・平成17年度 先進図書館におけるサービスや機能の調査を行うとともに、区民を中心とした学識経験者を含めた「これからの図書館調査懇談会」を設置し、今後の図書館サービスのあり方に関する報告を受けた。 ・平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会開催（事務局・総務企画課） ・平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書 ・平成22年11月 基本設計業務プロポーザルの実施について、文教・子育て支援委員会報告 ・平成23年8月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画案等について、文教・子育て支援委員会報告 ・平成23年9月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計開始 23年度予算から項目を独立 				
必要性	耐用年数の迫った荒川図書館に代わり、区内の中心部に位置する場所にセンター館機能を有する新図書館を建設するものであり、図書館サービス向上の面から優先度は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額	-	-	-	-	-	5,148	1,988
	決算額（24年度は見込み）	-	-	-	-	-	1,296	1,988
	人件費等					7,622	8,108	
	減価償却費					3,922	4,665	
	【事務分担当】（%）					135	150	
	合計（+ +）	0	0	0	0	11,544	14,069	1,988
	国（特定財源）						0	0
	都（特定財源）						1,057	0
	その他（特定財源）						0	0
	一般財源	0	0	0	0	11,544	13,012	1,988
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	関係研修の参加者（人）	-	-	-	-	-	7	11
	先進施設等の視察の参加者（人）						68	75

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
			金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）
	職員手当等			時間外勤務手当	50	時間外勤務手当	1,444
	賃金			蔵書分類変更臨時職員賃金	773		
	報償費			図書館業務計画策定支援	0	図書館業務計画策定支援	156
	旅費			視察旅費等	169	視察旅費等	270
	消耗品費			蔵書分類変更用ラベル等	284		
	負担金補助及び交付金			研修会等参加料	21	研修会等参加料	118

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後購入する予定の新館配架用の資料の選書～購入～装備～保管～搬入の実施方針の検討 ・ ICタグの購入・貼付に係る契約の実施方針の検討 ・ 新館で新たに実施するサービス（レファレンス専門カウンター、医療・健康情報サービス、絵本館）を担う人材の育成 ・ 図書館システムとの連携を踏まえた新館で実施するITサービス（電子書籍を含む。）の検討
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 2 区 未実施 区）</p> <p>新図書館（中央館規模）の整備計画を進めている区 新宿区、墨田区</p>

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
新館で新たに提供するサービスを見据えた研修体制の充実	新館で新たに提供するサービスの試行実施
新館用として購入する図書の選書作業の準備	新館用図書の購入～装備～保管までの一連の流れの実施体制の確立

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区民の生涯学習活動の拠点である図書館の環境整備を図るため、きわめて優先度の高い事業である。

議会質問状況 (要旨)	<p>平成15年二定 ・ 機能を充実した新しい図書館の建設について</p> <p>平成16年三定 ・ 中央図書館の早期設置について</p> <p>平成18年一定 ・ 中央図書館構想の策定について</p> <p>平成18年二定 ・ 新たな子ども図書館の期待と親子で楽しめる読書環境の整備について</p> <p>平成19年二定 ・ 区民施設、教育施設としての中央図書館設置について</p> <p>平成20年一定 ・ 荒川図書館の建替えについて</p> <p>平成24年一定 ・ 西尾久地域における図書サービスステーションの設置について</p> <p>平成24年二定 ・ 都立汐入公園内における（仮称）汐入図書館の設置について</p> <p>平成24年二定 ・ 「複合施設」から「融合施設」への考え方について</p>
----------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	読書環境の整備	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	小堀
		担当者名	諫山	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	読書環境の整備（01-08-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	23 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館利用者に快適な読書環境を提供することにより、利用率の向上及び図書館サービスの充実を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	限られたスペースの中ではあるが、より使いやすい家具・什器類や新たな備品の導入、壁や床のリニューアルを行うことにより、各図書館での快適性並びに利便性を向上させる。				
経過	荒川区実施計画事業として位置づけている「快適な読書環境の整備」をより具体化・充実するため、平成23年度に予算事業を独立したが、震災後の執行見直しにより、平成24年度からは「図書館の運営（図書館事務費）」に統合				
必要性					
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額						709	
	決算額（24年度は見込み）						704	
	人件費等						1,694	
	減価償却費						622	
	【事務分担当】（%）						20	
	合計（+ +）	0	0	0	0	0	3,020	0
	国（特定財源）						0	
都（特定財源）						0		
その他（特定財源）						0		
一般財源	0	0	0	0	0	3,020	0	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	消耗品費			尾久・椅子	64		
				町屋・机、椅子	198		
	備品購入費			荒川・書架	148		
				CD・DVD研磨機	294		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
改善・見直し	改善・見直し	平成24年度から「図書館の運営（図書館事務費）」に統合

議会議況（要旨）	
----------	--